

ぼうさいこくたい2025
SO-05 セッションオンライン
広島の防災教育の可能性を考える

大竹市発表資料

取り組み状況 (自分事化)

大竹市危機管理課
堀江 要造

障害者団体
(まち歩き)



主な取り組み

自主防災組織

- ・防災セミナー
- ・避難の呼びかけ体制

研修・訓練

防災リーダー育成研修

障害者団体 出前講座

福祉団体 出前講座

福祉事業所 出前講座

中学校 出前講座

小学校 出前講座

・・・などなど

自主防災組織
(安否確認訓練)



自主防災組織
(広島マイタイムライン)



自主防災組織
(DIG)



防災リーダー
(救命講習)



中学生 防災体験
湯煎による炊飯



小学校 出前講座



小学校 出前講座



教育上留意している事項

年月	要因	災害種別			主な被災地	被害の概要
		土砂	洪水	高潮		
S20. 9	枕崎台風	●	●		呉市 旧大野町 他	死者・行方不明者2,012名、 家屋全壊2,127戸、半壊3,375戸 他
S26.10	ルース台風	●	●	●	大竹市 旧佐伯郡 他	死者・行方不明者166名、 家屋全壊716戸、半壊1,267戸 他
S42. 7	豪雨	●	●		呉市 他	死者・行方不明者159名、 家屋全壊514戸、半壊605戸 他
S47. 7	豪雨	●	●		三次市 庄原市 他	死者・行方不明者39名、 家屋全壊349戸、半壊2,171戸 他
S63. 7	豪雨	●	●		旧加計町 他	死者・行方不明者15名、 家屋全壊38戸、半壊20戸 他
H 3. 9	台風19号	●	●	●	呉市 旧宮島町 他	死者6名、 家屋全壊50戸、半壊442戸 他
H11. 6	豪雨	●	●		広島市 呉市 他	死者32名、 家屋全壊154戸、半壊101戸 他
H11. 9	台風18号	●		●	広島市 呉市 他	死者5名、 家屋全壊2戸、半壊7戸 他
H16. 9	台風18号	●	●	●	広島市 廿日市市 他	死者5名、 家屋全壊27戸、半壊204戸 他
H18. 9	台風13号	●	●		安芸高田市 北広島町 他	死者・行方不明者2名、 家屋全壊4戸、半壊6戸 他
H22. 7	豪雨	●	●		庄原市 世羅町 他	死者5名、 家屋全壊19戸、半壊35戸 他
H26. 8	豪雨	●	●		広島市	死者77名、 家屋全壊179戸、半壊217戸 他
H30. 7	豪雨	●	●		県内全域	死者149名・行方不明者5名 (R2.2.10時点) 家屋全壊1,162戸、半壊3,628戸 他

広島県
土砂・洪水
頻繁に発生

大竹市被害

大竹市
70年以上
大規模災害
の経験なし

正常性バイアス

思い込み
「今回も大丈夫だ」

防災上の弱点

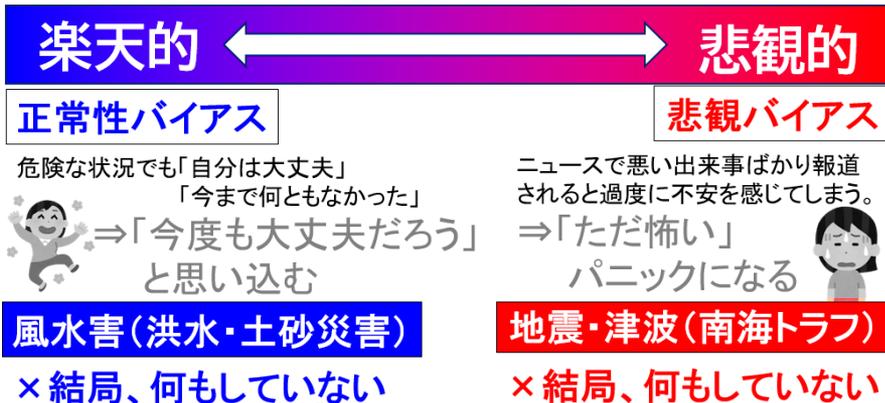
令和7年8月4日 更新

出典:ひろしまマイ・タイムライン

基礎研修における強調事項

研修資料

大竹市民が陥りやすい2つの傾向



正しい知識を得て

- 正しく恐れ
- 正しく備えましょう

- ・昔ながらの感覚: 高齢者に根強い
- ・基礎研修で必ず読み聞かせる
- ・「自分の命は自分で守る」の理解に重点

特に平野部で顕著

市民の意識(現状)

風水害<地震・津波



風水害重視では市民の意識が失速しかねない

取り組み上の工夫

風水害=地震・津波

自主性を重視

⇒活動の持続化

両者を対等化 包括的に実施

時代の变化

むかし 昔	時代	へんか 今
ひと いのち 人の命は ぎょうせい 行政が まも 守る	<p>2011年 ひがしにほんだいいしんざい 東日本大震災</p> <p>2016年 くもと ししん もはや かた このやり方ではひとまも 人を守れない 熊本地震</p> <p>2018年 にしひほん ごう 西日本豪雨</p>	<p>じぶん いのち 自分の命は自分で守る</p> <p>じぶん まも 自分で 情報を集め かんが 考え しよう こうどう 行動する</p> <p>じしょ 自助</p> <p>きょうじょ 共助</p> <p>こうじょ 公助</p> <p>じゅうみん たす あ 住民の助け合い</p> <p>ぎょうせい くに けん しちょう 行政 = 国・県・市町</p>

2018年12月 政府発表 <国民へむけた言葉> 中央防災会議(30年7月豪雨災害・避難に関するワーキンググループ)報告書より

「行政が一人ひとりの状況に応じた避難情報を出すことは不可能です。自然の脅威が間近に迫っているとき、行政が一人ひとりを助けに行くことはできません。行政は万能ではありません。皆さんの命を行政に委ねないでください。」

令和7年8月4日更新

自分事化のための工夫

- 既存のコンテンツ活用
- 市内の実例を使った説明
- 地区ごとのリスクの分析・説明
- 備蓄：具体的な目標の提示
- 市ホームページでの公開

○ 既存のコンテンツ活用

県が作成・推進した優れたコンテンツ

- ・ひろしまマイタイムライン
- ・地域防災タイムライン
- ・YAHOO!防災

市民により分かりやすく伝えるため

市独自の補足資料を作成し研修で使用



実例紹介

市独自で作成した資料の例 (避難行動)

① 避難行動のあり方

避難行動のあり方

避難とは、『難』を『避』けること
です。

- **安全な場所にいる人は避難場所に行く必要はありません。**
(⇒ ハザードマップで自宅の特性を把握)
- **行政が指定した避難場所に行くことだけが避難ではありません。**
(⇒ **分散避難**)

令和7年2月20日 更新
作成 大竹市危機管理課

② 分散避難の考え方

避難行動のあり方

分散避難

在宅避難 (屋内安全確保) 2階へ行く: 垂直避難

立退避難 (水平避難) 車中泊

避難場所・避難所

知り合いや親戚の家

○ **自宅が安全なら、外に逃げる必要はありません。**
⇒「在宅避難」 ⇒「立退避難」

令和7年2月20日 更新
作成 大竹市危機管理課

③ 災害別の安全な場所

安全な場所とは

地震: 頑丈な家・建物

津波: 来ないところ 高いところ

洪水: ハザードマップで色のついてないところ
洪水が来ても家にいられる場合

土砂: ハザードマップで色のついてないところ
土石流 崩れ 地すべり

令和7年4月11日 更新
作成 大竹市危機管理課

「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です
(入っていると...)

- 1 家屋前後等冠瓦想定区域に入っていない
- 2 浸水深より居室は高い
- 3 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分

浸水深: 5m-10m未満
0.5m-5m未満
0.5m-5m未満
0.5m未満

水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分 (十分じゃないと...)

市独自で作成した資料の例 (避難場所と避難所の違い)

① 避難場所と避難所の違い



ひなんばしょ
避難場所

かえ いえ ひと
帰る家のある人が
いえ かえ まつ ばしょ
家に帰るまで待つ場所



ひなんじょ
避難所

かえ いえ ひと
帰る家をなくした人が
かせつ じゅうたく
仮設住宅ができるまで
せいかつ ところ
生活する所

びんそく しよくりょう みず
●原則、**食料や水はありません。**
いっばんてき こうえん だいがく
●一般的に**大きな公園や大学**
が指定されます。
ひなしあけない ふすいがいい おお
●広島県は**風水害が多いので**
屋根付きの**建物**が多いです。
おあたけし おなじ
大竹市も同じです。

みず そな
●**水やトイレなどを備えています。**
いっばんてき しょうちゅうがっこう こうみんかん
●一般的に**小中学校や公民館な**
どの**公共施設**が指定されます。
おあたけし おなじ
●大竹市も同じです。
うんえい ひなんしゅ じぶん
●**運営は避難者が自分たちで**
ます。

令和7年8月4日 更新
作成 大竹市危機管理課

② 施設一覧表内の記載箇所

大竹市 指定 避難場所・避難所一覧



指定 避難場所



指定 避難所

立ち退き避難先の1つ
ここに逃げるだけで
避難ではない



大竹市指定避難場所・指定避難所一覧	
避難場所・避難所名	住所
指定避難場所	大竹市大字大字大字
指定避難所	大竹市大字大字大字

自分事化の
ための工夫

○ 市内の実例を使った説明(風水害)



ふだん

ないすいはんらん れい
内水氾濫の例

みず ふか
水の深さ10センチ

おおあめ
大雨のとき

どろみず みぞ み
泥水で溝が見えない
ふた
蓋がないところでは
お し
⇒落ちたら死ぬかも!!



おおたけしょう きけん かしょ
大竹小まわりの危険箇所



①



②



③



大竹市で毎年発生する水害



大竹市全般(JR線より山側)
大雨・土砂⇒毎年避難指示

小学校の出前講座では
学校周辺の危険箇所(例)を紹介
→ 平時から観察する重要性を強調

自分事化のための工夫

○ 市内の実例を使った説明(地震・津波)

ハザードマップ 津波(つなみ) 令和7年2月20日追加作成 大竹市危機管理課

津波浸水想定区域(津波が来るところ)

津波の予想はあたりません。ハザードマップを信じないでください。

実際は来てみないとわかりません。しかし見えてからでは遅いので

- 海に近い平野部
- 大きな川の周辺は津波が来るつもりで
- 高いところへ逃げてください。

建物への避難では、

- × 夜は入れないかもしれません。
- × 津波が高いと逃げ場がなくなります。

逃げる方向

原則、すべて立退避難 木造の家は特に危険

出典:国土省国土地理院(更新ハザードマップ) スマホで確認

大竹市周辺の活断層 令和7年8月4日追加

国土地理院 電子国土web 土地の成り立ち 活断層図(都市圏活断層図)

小方1丁目 小瀬川 吉の坂の峠

岩国IC 錦川 岩国城

Googleマップ

ぐんしゅう なだれ しょうぎ だお 群集雪崩(将棋倒し)

つなみ ひなん すうひやくにん せま ろじ さつとう 津波避難で数百人が狭い路地に殺到すると……

ちっそくし おお お 窒息死・大けがが起きます

まきこ まれると2度とで 巻き込まれると2度と出れません

このような人の塊を見たら逃げましょう

令和7年8月4日追加作成 大竹市危機管理課

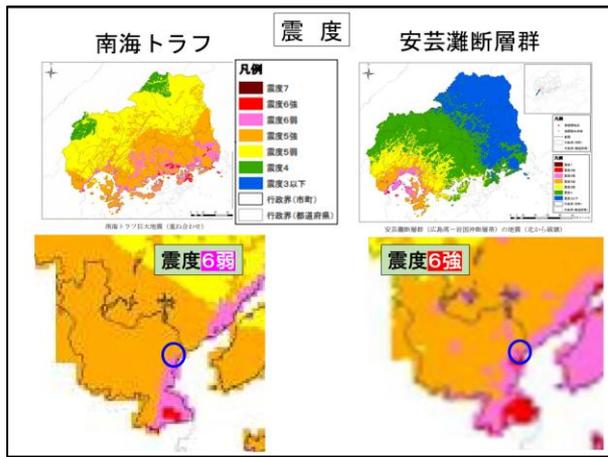
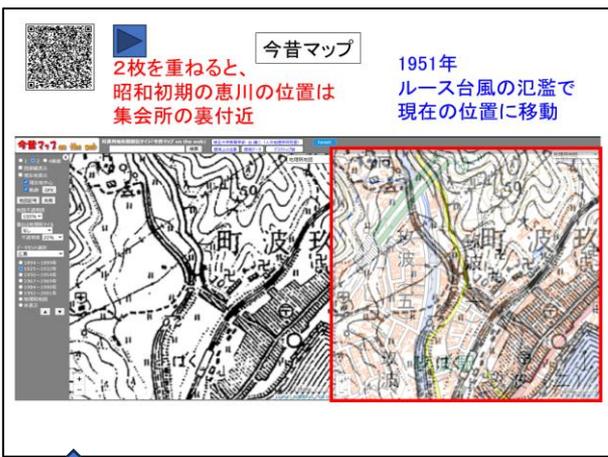
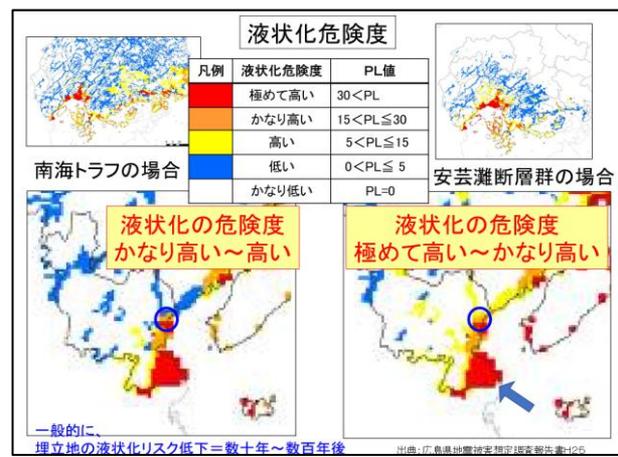
意外と知られていない 市内を貫く活断層の細部を紹介

群衆雪崩 発生の際のある箇所を紹介

自分事化のための工夫

○ 地区ごとのリスクの分析・説明

ある自主防災組織への説明例



洪水：同地区の河川のハザードマップは水防法に未適合
代わりに今昔マップを使用し、ルース台風で移動した河川位置を説明

自分事化のための工夫

○ 備蓄: 具体的な目標の提示

備蓄の優先順位

トイレ > 水 > 食べもの

食べなくても、水があれば2~3週間は生きられる。
水がないと、4~5日しか生きられない。
トイレは、半日も我慢できない。
トイレがないと、水も食べ物も取らなくなり倒れます。

電力
その他
人により
必要な物

無いと困るもの > あった方がよいもの

令和7年4月11日 更新
作成 大竹市危機管理課

備蓄目標日数

従来 **最低3日** できれば**1週間**
今後 **最低1週間** 目標**2週間**が望ましい

行政が準備できる備蓄品には**限界**があります。
自分の命を自分で守るために、**備蓄品は、自分で用意**しましょう。

令和7年4月11日 更新
作成 大竹市危機管理課

目標日数	従来の考え方	大規模災害	広範囲に影響する大規模災害
災害	局地的な災害	阪神淡路大震災 東日本大震災・熊本地震 平成30年7月豪雨 五市市岩国断層帯地震 安芸灘断層群地震 南海トラフ巨大地震 (半割れの場合)	令和6年能登半島地震 南海トラフ巨大地震 (東西が同時期に発生した場合)
発災0日			
3日	備蓄3日分		
1週間	応援物資供給体制	備蓄 1週間分	
2週間		実際は3日以上 応援物資供給体制	備蓄 2週間分 物流が飽和し長時間を要するとの指摘あり 応援物資供給体制

目標日数に応じた備蓄量(1人分の場合)

品目	トイレ	水(飲料水)	食料	電力
基準	1日 5回	1日 3L	1日 3食	使用する機器による
3日	15回分	9L	9食	
1週間	35回分	21L	21食	
2週間	70回分	42L	42食	

令和7年7月22日 更新
作成 大竹市危機管理課

非常時のトイレについて

トイレトーパーも必要

令和7年7月22日 更新
作成 大竹市危機管理課

	①	②	③	④	⑤
方法	生活用水利用による 普通のトイレ	非常用トイレ(凝固剤利用) 普通のトイレ	特設トイレ	仮設トイレ	マンホールトイレ
長所	既存のトイレが使用可能	既存のトイレが使用可能	設置が容易	設置が容易	既存の下水道が利用可能
短所	大量の水が必要(1回4~5L) (地震等)下水道破損時使用不可	やや高価 1人10日(50回)分で約5000円 発災後入手困難(備蓄必須) ゴミ回収まで保管 異臭対策必須(BOS袋推奨)	椅子の購入が必要	大量調達に時間がかかる	改修工事が必要(大竹市未対応) (地震等)下水道破損時使用不可
個人への適応度	×	◎	○	△	×

令和7年7月22日 更新 大竹市危機管理課

ローリングストック

「ローリングストック」とは、普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。

災害用食料
アルファ化米
は高価!
1食400円

普段使いの食料
多めに購入

ローリング
ストックで
低コスト

補充する

ローリング
ストック

食べる

新年度
日常食品
特設歩用品
備える

令和7年2月20日 追加
作成 大竹市危機管理課

自分事化の
ための工夫

○ 市ホームページでの公開

迅速な更新・公開

ねらい

受講者の復習効果
市民への情報還元



防災研修資料

- [【最新版】\(防災基礎\)基本編 \(R7.8.4更新\) \(PDFファイル: 12.9MB\)](#)
- [【最新版】\(防災基礎\)地震・津波編 \(R7.8.4更新\) \(PDFファイル: 14.5MB\)](#)
- [【最新版】\(防災基礎\)備蓄編 \(R7.8.4更新\) \(PDFファイル: 2.3MB\)](#)
- [防災セミナー](#)
令和7年6月1日(日曜日) アゼリアおおたけ
- [防災リーダー\(新規育成\)研修](#)
令和6年11月9日(土曜日) 16日(土曜日) 市役所
- [個別研修\(呼びかけ体制・ステップアップ訓練\)](#)
- [防災リーダー\(フォローアップ\)研修](#)
令和6年11月16日(土曜日) 大竹市役所
- [自主防災組織 設立研修](#)
自主防災組織の設立のための研修会
- [大竹市介護支援専門員連絡協議会研修会](#)
令和6年度から4年度分の資料公開です。
- [防災連\(大竹市聴覚障害者防災連絡協議会\)](#)
- [出前講座\(西栄1丁目防災教室\)](#)
- [学校関係](#)
学校への出前講座
- [防災意識向上プロジェクト\(旧・災害伝承10年プロジェクト\)](#)
- [事業所への出前講座](#)
令和7年4月11日ルミナス小方ヶ丘
- [大竹市自立支援協議会 事業所部会 防災研修会](#)
令和7年8月19日 サントピア大竹

基本編・地震津波編・備蓄編
に分割した総合版

研修会毎の資料

公開先
大竹市HP
防災研修資料



○ 成 果

- 活動の自然な広がりを実感
呼びかけ体制・・・2年連続で前年比2倍増
出前講座・・・・・・・・口コミで要望が年々増加

○ 課 題

- バランスの維持(風水害＝地震津波)
- 市職員の負担軽減(効率的な準備)